

2024



緑小だより 7号

令和6年 11月

清川村立緑小学校

児童数 105人

家庭数 81戸



深まる秋に

校長 船津 慎一

暦の上では冬になる頃に、秋を感じるようになりました。運動会を終えて、6年生は日光へ修学旅行に行ってきました。景勝地や歴史的遺産を眼前にすると、今を生きていることに新たな感動を覚えるものです。また、4・5年生は休校になっている宮ヶ瀬小学校を活用して宿泊学習を行いました。学校運営協議会の皆さんにもお手伝いをいただき、日常では経験できない野外炊事やキャンプファイヤーなど貴重な経験ができたと思います。新しく見聞きしたことや数多くの経験は人間を成長させてくれます。食べたもので体が作られるように、経験したことで心が養われます。それが楽しいものであれば経験値はより高まります。仲間と行動することは自分を制するところを踏まえて協働して自己実現することを教えてくれます。これらの経験を生かして子どもたちが健やかにたくましく成長することを願っています。様々なご協力をいただきました地域・保護者の皆様に感謝を申し上げます。今後もよろしくお願いいたします。

百聞は一見に如かず 百見は一考に如かず 百考は一行に如かず 百行は一果に如かず

11月は緑小学校の読書月間です。読書することには、ストレスの軽減や創造性・想像力や集中力の向上、豊かな教養や知識を身につけるなどのさまざまなメリットがあると言われます。この期間は、図書室をいつもに増して利用しやすくなるようにしたり、貸し出し冊数を増やしたりと工夫します。これが子どもたちの日常的な読書活動の充実やその習慣化につながると良いと思います。環境を整えるのも大切ですが、習慣化するためには、自分自身で「週に〇冊読む」といった量の目標ではなく、「いつ、どこで、どうするか」という自分の行動を具体的にイメージするとよいと思います。それを忘れないように目に見えるようにしておくことも大切です。

もう一つ、読書も運動と同じで「読みの体力」が必要です。学年にとらわれず自分で読みやすいものを選び「読みの体力」をつけていくことが必要です。いきなり3時間を切るタイムでフルマラソンは難しいのと同じです。読みやすい本をたくさん読んでトレーニングしましょう。

読解力をつけるための読書も良いけど、伝える力をつけるための読書も良いですね
【ITを使った読書もありです。電子書籍や朗読アプリも良いかもしれません】

村PTA連絡協議会主催「豊かな未来を生きる～自分らしく社会とかかわり自ら行動していくために～」と題した家庭教育講演会がありました。講師には、元千代田区立麴町中学校長 工藤 勇一 さんをお招きしました。当日は緑中全生徒も出席してお話を聞いていました。著書も多く、中でも『学校の「当たり前」をやめた。一生徒も教師も変わる!公立名門中学校長の改革』はよく知られているところです。これからの時代は社会構造が激変する時代となるので、自分の頭で考え判断して行動する主体性を身につけて生きること、当事者意識をもって生きることが欠かせないというお話や、手をかければかけるほど生徒は自律できなくなるというお話はこれからの学校教育について考えさせられる内容でした。読書月間でもあるので、工藤先生の著書を読んで勉強しなくてはと強く感じました。参加されました皆様、ありがとうございました。

工藤さんのメッセージ

親はいつ子どもを手放すかを逆算して それぞれの段階・状況にあった子育てをすべきです

小中合同文化発表会

今年度より小中合同で文化発表会を行いました。小学生はボディパーカッションや合奏、歌唱などを発表しました。中学生は探求学習の成果や英語劇、全校合唱など日頃の取組の成果を発表していました。

児童・生徒が互いの成果を鑑賞し合い、また、多くの保護者の方にも見ていただける良い学びの機会となりました。



1・2年生



3・4年生



5・6年生



中学生と5・6年生合同の合唱

宮ヶ瀬宿泊体験学習 ～4.5年生～

4.5年生は宮ヶ瀬宿泊体験学習を行いました。学校ではなかなかできない活動を通して、絆を深めました。



日光修学旅行 ～6年生～

6年生が日光修学旅行へ行きました。日光の雄大な自然の素晴らしさに感動したり、東照宮の見学では、歴史の重みを感じたりなど、心に残る2日間でした。



裏面もご覧ください。

